

**社会構造の変化**：少子高齢化、人口減少、地域社会の変容、デジタル化 + コロナ禍  
➡変化せざるを得ない社会に

**行政の変革の必要性**：社会変化のダイナミズムに対応する「しなやかな行政」へ

## 行政の評価が目指すべき姿

- ① しなやかな評価（今日的な課題を適時・的確に明らかに）
- ② 役に立つ評価（国民・社会の課題解決に役立つ情報を使いやすく）
- ③ 納得できる評価（優れた研究やデータの活用による充実した情報を分かりやすく）

**1. 制度導入後20年を迎える政策評価の改善**  
⇒政策プロセスの中でより効果的に機能し、  
社会の変化に対応できるものへと転換  
(その際、政策評価を実施する職員のモチベーションを向上させるものに)

**2. 行政評価局調査の充実強化**  
⇒調査を通じて「行政をよくする」という目的のために、プロセスを見直し、バリエーションを増やす。  
(その際、国民目線、変化への対応を重視)